

(様式4)

◆ 今澤 悌

<所属・職名>

甲府市立大國小学校 教諭

<略歴>

1988～ 山梨県小学校教員採用 (～現在)

2002, 4～2003, 3 文科省 学校教育における JSL カリキュラム開発 (小学校編) 国語科部会員

2005～本年度 文科省・教員研修センター (現教職員支援機構) 日本語指導に係る中央研修講師

2008, 4～2009, 3 東京学芸大学大学院 教育学研究科 日本語教育コース (修了)

2017, 4～ 文科省委託「在外教育施設における高度グローバル人材育成拠点事業」

補習校チーム委員

2019, 5～現在 文科省 日本語指導アドバイザー (現 外国人児童生徒教育アドバイザー)

2020, 4～2021, 3 文科省 日本語教育支援基盤整備事業 動画コンテンツ開発委員

2022, 4～ 文科省委託「在外教育視察の特色化教育プログラム促進授業」 研究員

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

山梨県甲府市の小学校教員です。採用以来長く外国人の子どもたちに関わり、またその子どもたちへの日本語指導担当として勤務してきました。その経験の中から、以下の内容について特に話ができるかと思えます。

○ 外国人の子どもたちへの日本語指導の実際

- ・ サバイバル指導
- ・ 初期指導
- ・ 技能別日本語指導
- ・ 教科と日本語の統合学習 (文科省 JSL カリキュラム)

※ 以上のそれぞれの指導段階での指導案の作成、授業の実際、教材、支援、評価等

また、日本語指導以外でも学校現場で抱える以下のような課題についても話ができるかと思えます。

- 外国人の子どもたちの学校への受け入れ
- 校内の体制作りと在籍学級担任との連携
- 行政、地域、その他外部との連携
- 外国人の子どもたちを中心とした多文化共生教育、国際理解教育
- 外国人の子どもたちの生活適応に関する問題とそれへの取り組み
- 保護者への対応
- 中学生への進路・進学指導

等々

小学校教員なので、理論的な話は難しいかもしれませんが、学校の先生方と同じ立場で悩み、試行錯誤してきた今までの実践・取り組み・経験からの話ができるかと思えます。

◎共著

- 小学校「JSL 国語科」の授業作り スリーエーネットワーク
- 日本語が話せないお友だちを迎えて くろしお出版
- 外国人児童生徒のための支援ガイドブック 凡人社

<対応可能学校種>

小中学校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

対応可

(様式4)

<その他(国等の委員歴等)>

- ◎文部科学省「学校教育におけるJSLカリキュラム開発」国語科部会員
- ◎文科省委託「在外教育施設高度グローバル人材育成拠点事業」委員
- ◎文部科学省「日本語教育支援基盤整備事業 動画コンテンツ開発」委員

<関連URL>

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/003/001/008.htm

<https://ag-5.jp/sp>

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容(モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応)」のA～Nの書く欄に、◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。